ガラスの里で永遠の愛誓う

「聖地」認定で挙式発案

広島市安佐北区大林のガラスの里は、カップルの絆を深める「恋人の聖地サテライト」に認定されている園内で人前結婚式を始めた。年数組の挙式を想定している。

宗教色のない式で、婚姻届受理証明書を参列者に披露する形式。同園が2013年にNPO法人地域活性化支援センター（静岡）に「恋人の聖地サテライト」に認定され、来園者が増えているため発案したという。ことし3月から1カ月かけてレストランのホールを披露宴向けに改装した。

4月下旬には、公募した安佐南区の教員大下良樹さん(28)と会社員愛美さん(29)が園内のガラスの城前の庭で挙式。親族のほかに同園を訪れていた観光客約30人が見守った。

大下さんは「大勢の人の前で愛を誓い合えてうれしい。一生の思い出になった」と喜んだ。

同園を運営するガラスビーズ製造のトーホー（西区）と、県内のブライダル関係者でつくる広島ブライダル振興研究会の企画。挙式の額は今後決めるという。同園の正力謙志郎支配人は「カップルの記念にしてもらい、さらなる集客増につなげたい」と話している。

ガラスの里☎082（818）0414。

（中川雅晴）

ガラスの里で挙式し、参列者たちに祝福される大下さん夫妻（中央）